

水栓ジョイントボックス(A-5)、壁貫通エルボボックス

青銅製継手

1

ダブルロックジョイント

 特長・工法別
早見表

 樹脂ポリ手レ管
ポリブタン管

WJ型

W型

 WT型
WX型

 WPL型
WPT型

 保温材
ダブルロックバルブ

ヘッダー

 取付金具・
変換アダプター

 水栓ジョイント
関連

 たて型水栓
ジョイント関連

配管部材

施工例

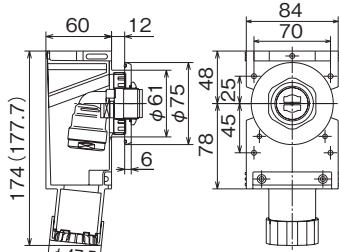
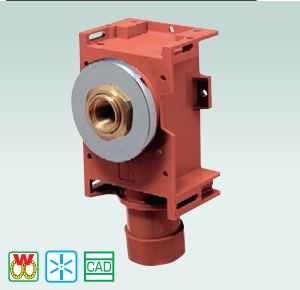
参考資料

A-5 水栓ジョイントボックス Rp $\frac{1}{2}$ ねじ

 継手材質:
CAC406

- 青銅製継手が内蔵された壁空間60mm以上、樹脂管16A、サヤ管28・30に対応する大型ボックスです。
- ユニットバス・木・軽量間仕切り壁・コンクリート壁(埋設)に取付けられます。

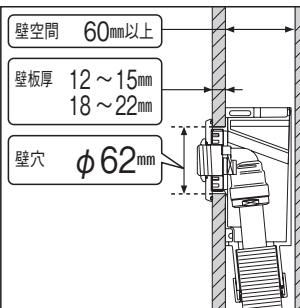
壁板厚12~15mm・18~22mm用



()内寸法はサヤ管呼び径30です。

注意

- ボックスと水栓エルボは同一梱包されていますが、仮組立されていませんので、下の部品構成を参考に施工して下さい。
- 化粧リング取付面はコーキング処理を行なって下さい。
- 16Aは、樹脂管の種類により品番がA、Cの2つに区別されています。(P39樹脂管適用表参照)

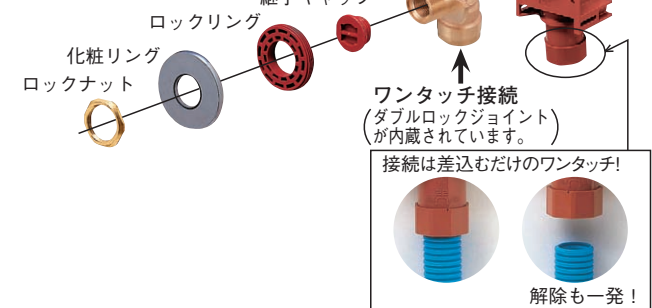
取付寸法


水栓スペーサー (GS5-106E) を使用すれば、壁板厚12~15mm用は9~12mmに、壁板厚18~22mm用は15~19mmに対応できます。(但し壁空間が63mm以上必要です。)

青銅継手

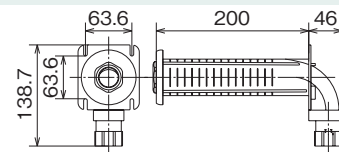
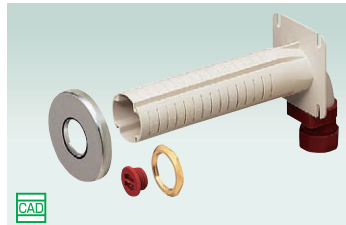
適用	品番	仕上げ壁板厚(mm)		適合管サイズ		箱入数		価格(円)
		樹脂管	サヤ管	大箱	小箱			
PEX	WA5A-1628	12~15	28	10	1	16A	8,300	
	WA5A-1630							30
	WA5A-16L28	18~22	28	10	1			
	WA5A-16L30							30
PB	WA5C-1628	12~15	28	10	1	16A	8,300	
	WA5C-1630							30
	WA5C-16L28	18~22	28	10	1			
	WA5C-16L30							30

水栓エルボは日本水道協会認証登録品(G-652)です。

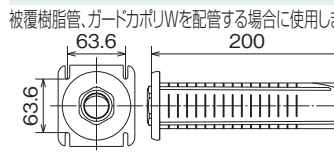
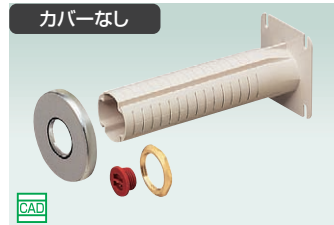
部品構成


壁貫通エルボボックス

屋内からベランダ等に水栓を配管する際の壁貫通部に使用します。壁貫通エルボボックス用継手(別売)とセットで使用して下さい。

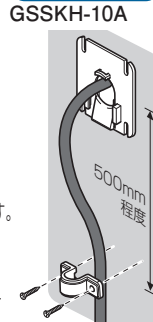


品番	適合サヤ管サイズ	箱入数		価格(円)
		大箱	小箱	
GSSK-22	22	10	-	2,340



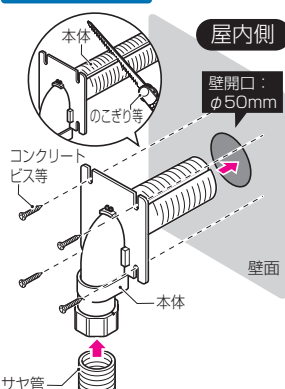
品番	適合樹脂管	箱入数		価格(円)
		大箱	小箱	
GSSKH-10A	10A	10	-	1,900

注: 樹脂管を座屈させないように曲げを大きめに取って配管して下さい。本体から500mm程度の位置に樹脂管をサドル等で固定して下さい。

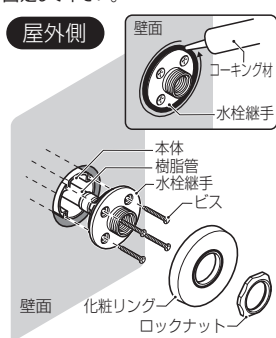
施工例

壁貫通エルボボックス用継手


日本水道協会認証登録品 G-653

適用	品番	呼び径		箱入数		価格(円)
		ねじ	樹脂管	大箱	小箱	
共用	WJ42-1310-S	Rp $\frac{1}{2}$	10A	64	8	3,000

施工手順


- ①φ50mmの壁貫通穴を水栓設置位置に開けます。
※ボイド管を使用する場合は、内径φ50mmをご使用下さい。
- ②壁厚に合わせて、ボックス本体をのこぎり等で切断します。
- ③本体にサヤ管を接続後、貫通穴に設置し、コンクリートビス等でツバ部を固定します。



- ④樹脂管をヘッダー側より通管し、壁面より5cmほど引出します。
※壁厚が150mm未満の場合は樹脂管ガイド(GS-115-10AS)を使用すると配管が容易に行えます。
- ⑤樹脂管に水栓継手を接続し、添付ビスで本体の溝(4箇所)に固定します。
- ⑥継手と壁面の間コーキング処理を施し、化粧リングを取付け、ロックナットで固定します。